

別紙3 関東1 茨城徳田 樹木採取区森林資源等状況一覧表

区域番号	林班	小班	機能類型	施業群	(法令制限) (保安林)	権利関係	小班面積 ha	林種	樹種	混交歩合	林齢	主伐が可能になる伐期齢	間伐その他の樹木となる林齢	(現時点)連年 生長量 m	区域界の表示方法	明確でない小班 内雑地等面積 ha	区画面積 ha	区画から控除する雑地等面積 ha	伐採率 %	採取方法	面的な複層状態に誘導する小班的 まとも	主伐箇所での間伐率 %	採取可能面積 ha	前回の間伐実施 年度	主伐が可能になる年度	間伐その他の樹木の採取が可能となる年度	隣接林分が鬱閉したものと する 年度	ha 当たり伐採材積 m <sup>3</sup>	保護樹帯の設置	可能樹帯が年度	摘要
区域1	2002	い1	水源	分散	水涵保	—	19.35	単	スギ ヒノキ 他L	68 31 1	57	45	25	75.9 49.4 0.7	A	1.88	ス ヒ 13.01 1.59	1.42	100	皆伐	-	35 35 35	-	H24	R4	R4	—	469	—	—	
区域1	2002	い3	水源	分散	水涵保	—	13.17	単	スギ ヒノキ	65 35	59	45	25	44.4 34.2	A	0.79	ス ヒ 2.61 0.14	0.16	100	皆伐	-	35 35	-	H24	R4	R4	—	407	—	—	
区域1	2002	い4	水源	分散	水涵保	—	5.24	単	スギ 他L	99 1	56	45	25	39.8 0.2	B	0.21	ス 4.90	0.20	100	皆伐	-	35 35	-	H24	R4	R4	—	476	—	—	
区域1	2002	い7	水源	分散	水涵保	—	6.28	単	スギ ヒノキ 他L	61 38 1	57	45	25	22.7 20.2 0.2	B	0.61	ス ヒ 4.69 1.52	0.46	100	皆伐	-	35 35 35	-	H24	R4	R4	—	474	—	—	
区域1	2002	い8	水源	分散	水涵保	—	17.85	単	スギ ヒノキ	68 32	57	45	25	61.3 41.2	A	0.22	ス ヒ 4.00 9.43	0.05	100	皆伐	-	35 35	-	H27	R7	R7	—	398	—	—	
区域1	2002	に	水源	分散	水涵保	—	1.83	単	ヒノキ	100	50	55	30	14.3	C	0.00	ヒ 1.83	0.00	100	皆伐	-	35	-	H27	R7	R7	—	252	—	—	
区域1	2002	ほ	水源	分散	水涵保	—	1.11	単	ヒノキ	100	46	55	30	13.8	C	0.00	ヒ 1.11	0.00	100	皆伐	-	35	-	H27	R11	R7	—	335	—	—	
区域2	2002	と	水源	分散	水涵保	—	1.97	単	ヒノキ	100	50	55	30	15.5	C	0.00	ヒ 1.97	0.00	100	皆伐	-	35	-	H27	R7	R7	—	253	—	—	
区域1	2002	り	水源	分散	水涵保	—	3.89	単	ヒノキ	100	50	55	30	30.3	C	0.03	ヒ 3.89	0.03	100	皆伐	-	35	-	H27	R7	R7	—	253	—	—	
区域1	2002	ぬ	水源	分散	水涵保	—	4.69	単	ヒノキ	100	50	55	30	36.4	C	0.05	ヒ 4.69	0.05	100	皆伐	-	35	-	H27	R7	R7	—	253	—	—	
区域1	2002	る	水源	分散	水涵保	—	7.95	単	スギ ヒノキ	71 29	57	45	25	29.9 17.4	B	0.02	ス ヒ 6.44 1.07	0.02	100	皆伐	-	35 35	-	H27	R7	R7	—	401	—	—	
区域3	2002	わ	水源	分散	水涵保	—	4.75	単	スギ ヒノキ	70 30	65	45	25	14.4 9.8	C	0.00	ス ヒ 3.15 1.10	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H27	R7	R7	—	361	—	—	
区域1	2003	ろ	水源	分散	水涵保	—	8.85	単	スギ ヒノキ	70 30	55	45	25	38.3 23.7	A	0.03	ス ヒ 6.56 1.22	0.03	100	皆伐	-	35 35	-	H29	R9	R9	—	356	—	—	
区域1	2003	へ1	水源	分散	水涵保	—	0.80	単	スギ	100	59	45	25	6.9	C	0.00	ス 0.80	0.00	100	皆伐	-	35	-	H18	R3	R3	R10	614	工	R10	
区域1	2003	へ3	水源	分散	水涵保	—	0.35	単	スギ	100	59	45	25	3.0	C	0.00	ス 0.35	0.00	100	皆伐	-	35	-	H18	R3	R3	R10	614	工	R10	
区域1	2003	と	水源	分散	水涵保	—	1.46	単	スギ ヒノキ	80 20	58	45	25	8.3 3.0	C	0.00	ス 1.46	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H29	R9	R9	—	508	—	—	
区域1	2003	か1	水源	分散	水涵保	—	1.09	単	スギ ヒノキ	19 81	63	55	30	1.0 6.7	C	0.00	ス ヒ 0.23 0.86	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H18	R3	R3	R10	397	工	R10	
区域1	2003	よ1	水源	分散	水涵保	—	19.67	単	スギ ヒノキ 他L	64 35 1	54	45	25	80.1 63.3 0.8	A	0.07	ス ヒ 8.36 6.28	0.05	100	皆伐	-	35 35 35	-	H29	R9	R9	R10	356	工	R10	
区域4	2004	ろ	水源	分散	水涵保	—	7.67	単	スギ ヒノキ	74 26	52	45	25	45.1 22.9	A	0.00	ス ヒ 6.45 0.42	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H28	R8	R8	—	459	—	—	
区域4	2004	は	水源	分散	水涵保	—	17.74	単	スギ ヒノキ	73 27	51	45	25	115.3 62.9	B	0.00	ス ヒ 11.26 5.23	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H28	R8	R8	—	456	—	—	
区域5	2004	へ	水源	分散	水涵保	—	11.14	単	スギ ヒノキ	45 55	53	55	30	39.5 69.7	A	0.00	ス ヒ 5.84 1.60	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H26	R6	R6	—	458	—	—	
区域6	2004	と2	水源	分散	水涵保	—	18.15	単	スギ ヒノキ	45 55	49	55	30	60.4 109.0	A	0.00	ス 8.90	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H26	R8	R6	—	376	—	—	
区域7	2004	り1	水源	分散	水涵保	—	13.21	単	スギ ヒノキ	89 11	49	45	25	99.5 18.2	A	0.00	ス ヒ 6.03 0.53	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H26	R6	R6	—	441	—	—	
区域7	2004	り2	水源	分散	水涵保	—	7.30	単	スギ ヒノキ	90 10	50	45	25	58.7 9.6	B	0.00	ス ヒ 6.86 0.09	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H26	R6	R6	—	444	—	—	
区域7	2004	ぬ	水源	分散	水涵保	—	4.03	単	スギ ヒノキ	76 24	49	45	25	28.1 13.1	C	0.00	ス ヒ 2.99 1.04	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H26	R6	R6	—	437	—	—	
区域7	2004	る	水源	分散	水涵保	—	12.60	単	スギ ヒノキ	31 69	48	55	30	31.5 103.5	A	0.00	ス ヒ 5.05 4.17	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H26	R9	R6	—	384	—	—	
区域7	2004	た	水源	分散	水涵保	—	3.27	単	スギ ヒノキ	80 20	49	45	25	21.8 8.1	A	0.00	ス ヒ 2.30 0.32	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H26	R6	R6	—	401	—	—	

別紙3 関東1 茨城徳田 樹木採取区森林資源等状況一覧表

区域番号	林班	小班	機能類型	施業群	(法令制限) (保安林)	権利関係	小班面積 ha	林種	樹種	混交歩合	林齢	主伐が可能になる伐期齢	間伐その他の樹木になる林齢	(現時点)連年 生長量 m	区域界の表示方法	明確でない小班 内雑地等面積 ha	区画面積 ha	区画から控除する雑地等面積 ha	伐採率 %	採取方法	面的な複層状態に誘導する小班的まとも	主伐箇所での間伐率 %	採取可能面積 ha	前回の間伐実施 年度	主伐が可能になる年度	間伐その他の樹木になる年度	隣接林分が鬱閉したものとする 年度	ha 当たり伐採 材積 m <sup>3</sup>	保護樹帯の設置	保護に樹帯が年度	摘要
区域8	2025	へ	水源	ス分散	水涵保	—	26.59	単	スギ ヒノキ	85 15	69	45	25	72.0 20.3	A	0.34	ス 19.90	0.25	100	皆伐	-	35 35	-	H20	R3	R3	—	332	イ	—	
区域8	2025	と	水源	ス分散	水涵保	—	41.08	単	スギ ヒノキ	60 40	54	45	25	210.3 202.5	B	0.27	ス 27.79 ヒ 13.13	0.18	100	皆伐	-	35 35	-	H25	R5	R5	—	479	—	—	
区域8	2025	ぬ	水源	ヒ分散	水涵保	—	0.40	単	スギ ヒノキ	100	54	55	30	4.9	C	0.00	ヒ 0.40	0.00	100	皆伐	-	35	-	—	R3	R3	—	473	—	—	
区域8	2025	る	水源	ス分散	水涵保	—	1.83	単	スギ ヒノキ	77 23	55	45	25	11.2 4.8	C	0.00	ス 1.33 ヒ 0.50	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H25	R5	R5	—	443	—	—	
区域9	2026	い	水源	ス分散	水涵保	—	9.26	単	スギ	100	70	45	25	43.6	C	0.11	ス 9.26	0.11	100	皆伐	-	35	-	H19	R3	R3	—	476	—	—	
区域10	2026	へ1	水源	ス分散	水涵保	—	11.53	単	スギ ヒノキ	59 41	64	45	25	36.6 40.3	B	0.11	ス 4.83 ヒ 4.54	0.05	100	皆伐	-	35 35	-	H25	R5	R5	R9	462	エ	R9	
区域10	2026	と	水源	ス分散	水涵保	—	5.17	単	スギ ヒノキ	75 25	58	45	25	20.4 9.7	C	0.04	ス 4.30 ヒ 0.87	0.04	100	皆伐	-	35 35	-	H20	R3	R3	R9	378	エ	R9	
区域10	2026	ち	水源	ス分散	水涵保	—	6.09	単	スギ ヒノキ	79 21	53	45	25	32.9 12.6	B	0.02	ス 4.86 ヒ 1.20	0.02	100	皆伐	-	35 35	-	H18	R3	R3	—	383	—	—	
区域10	2026	る1	水源	ス分散	水涵保	—	6.55	単	スギ ヒノキ	96 4	54	45	25	43.1 2.6	B	0.00	ス 5.74 ヒ 0.16	0.00	100	皆伐	-	35 35	-	H17	R3	R3	—	423	—	—	
																小計	ス 190.25 ヒ 70.90														
合計							323.91										261.15					153.23									

備考

- 「区画面積」は、表示方法A及びBにおいては区域位置図における各区画のGIS等による計測値、表示方法Cにおいては森林調査簿の小班面積である。
- 「ha当たり伐採材積」は、林齢、主伐が可能になる伐期齢、現時点の連年生長量、伐採率等から採取時の材積を想定できるよう、参考に記載しているものであり、実際の材積を表すものではない。
- その他表記事項についての凡例は別紙による。
- 区域番号及び区画面積以外の情報は、令和3年3月31日時点の森林調査簿によるほか、それぞれの区画について樹木採取権制度ガイドラインについて(令和2年4月1日付け元林国経第177号林野庁長官通知)、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画で示された考え方に基づき示したものである。

別紙

関東1 茨城徳田 樹木採取区森林資源等状況一覧表 凡例

項目	表記	内容
機能類型	水源	水源涵養タイプ（良質な水の安定供給を確保する観点から、水源涵養機能の発揮が期待される基礎的な機能）
施業群	ス分散	スギ分散伐区（伐区を小面積にし分散化させる森林）
	ヒ分散	ヒノキ分散伐区（伐区を小面積にし分散化させる森林）
法令制限 （保安林）	水涵保	水源かん養保安林（流域保全上重要な地域にある森林の河川への流量調節機能を安定化し、洪水、渇水の緩和や各種用水を確保したりするために指定された保安林）
林種	単	育成単層林（同一年に植栽し生育した林分）
保護樹帯の設置	国が当該箇所では最低限設置する必要があると見込んでいる保護樹帯。	
	ア	尾根、溪流沿い等で国有林野の有する公益的機能の維持増進に必要な箇所
	イ	生態系保全上重要な箇所（樹木採取区外を含む。）に隣接する箇所
	ウ	隣接する林分（民有林を含む。）であって設定が見込まれる樹木採取権の存続期間中に主伐が予定されているものとの境界に当たる箇所
	エ	隣接する林分（民有林を含む。）が更新後、新生林分の鬱閉に要する年数を経過していない場合には、当該林分との境界に当たる箇所

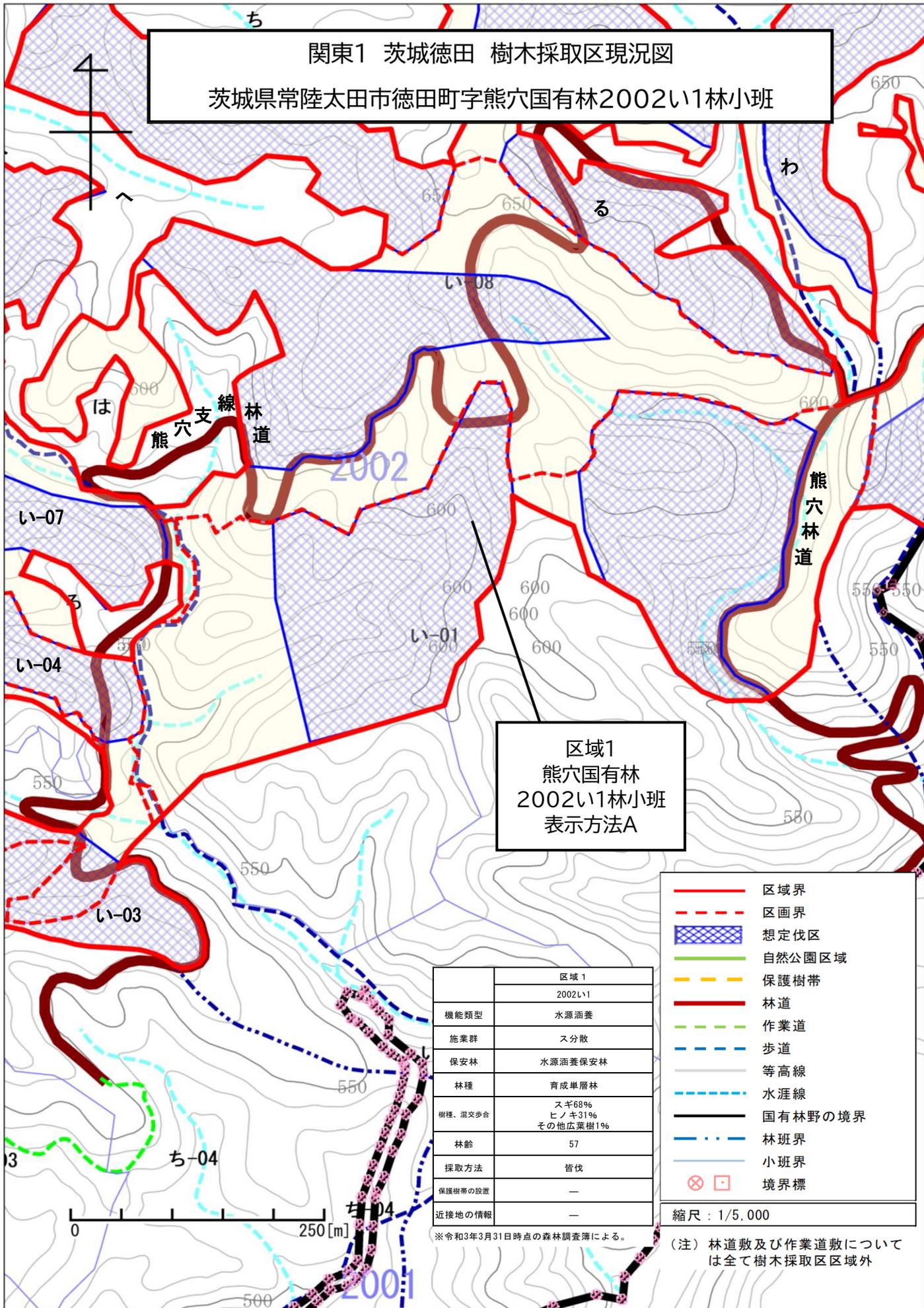
関東1 茨城徳田 樹木採取区森林資源等状況一覧表 齢級別面積

齢級	スギ 区画面積(ha)	ヒノキ 区画面積(ha)
1	0.00	0.00
2	0.00	0.00
3	0.00	0.00
4	0.00	0.00
5	0.00	0.00
6	0.00	0.00
7	0.00	0.00
8	0.00	0.00
9	0.00	0.00
10	32.13	19.55
11	78.19	29.73
12	42.56	15.12
13	8.21	6.50
14	29.16	0.00
15	0.00	0.00
16	0.00	0.00
17	0.00	0.00
18	0.00	0.00
19	0.00	0.00
20	0.00	0.00
合計	190.25	70.90

関東1 茨城徳田樹木採取区 図面一覧表

図面番号	区分	対象とする区域番号	備考
図面 1	現況図	区域 1	
図面 2	現況図	区域 1	
図面 3	現況図	区域 1、区域 2	
図面 4	現況図	区域 1、区域 3	
図面 5	現況図	区域 1	
図面 6	現況図	区域 1	
図面 7	現況図	区域 1	
図面 8	現況図	区域 4	
図面 9	現況図	区域 4	
図面 1 0	現況図	区域 5、区域 6	
図面 1 1	現況図	区域 7	
図面 1 2	現況図	区域 7	
図面 1 3	現況図	区域 8	
図面 1 4	現況図	区域 8	
図面 1 5	現況図	区域 9	
図面 1 6	現況図	区域 1 0	
図面 1 7	現況図	区域 1 0	

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市徳田町字熊穴国有林2002い1林小班



区域1  
 熊穴国有林  
 2002い1林小班  
 表示方法A

- 区域界
- - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- - - 保護樹帯
- 林道
- - - 作業道
- - - 歩道
- 等高線
- - - 水涯線
- 国有林野の境界
- . . - 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

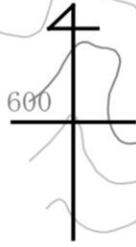
	区域1
	2002い1
機能類型	水源涵養
施案群	ス分散
保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ68% ヒノキ31% その他広葉樹1%
林齢	57
採取方法	皆伐
保護樹帯の設置	—
近接地の情報	—

縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市徳田町字熊穴国有林2002い3林小班ほか

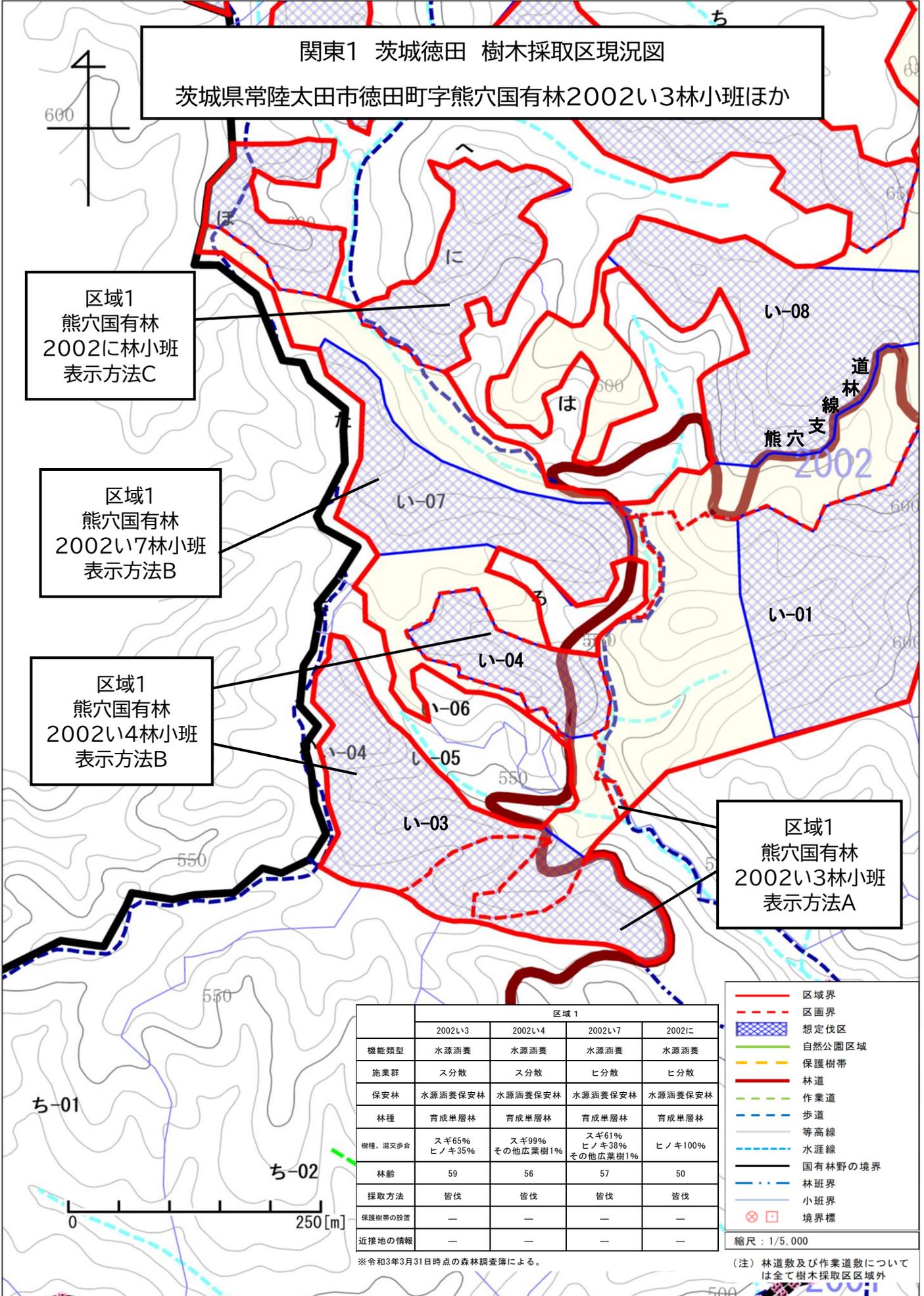


区域1  
 熊穴国有林  
 2002に林小班  
 表示方法C

区域1  
 熊穴国有林  
 2002い7林小班  
 表示方法B

区域1  
 熊穴国有林  
 2002い4林小班  
 表示方法B

区域1  
 熊穴国有林  
 2002い3林小班  
 表示方法A



	区域1			
	2002い3	2002い4	2002い7	2002に
機能類型	水源涵養	水源涵養	水源涵養	水源涵養
施業群	ス分散	ス分散	ヒ分散	ヒ分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林	育成単層林	育成単層林	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ65% ヒノキ35%	スギ99% その他広葉樹1%	スギ61% ヒノキ38% その他広葉樹1%	ヒノキ100%
林齢	59	56	57	50
採取方法	皆伐	皆伐	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	-	-	-	-
近接地の情報	-	-	-	-

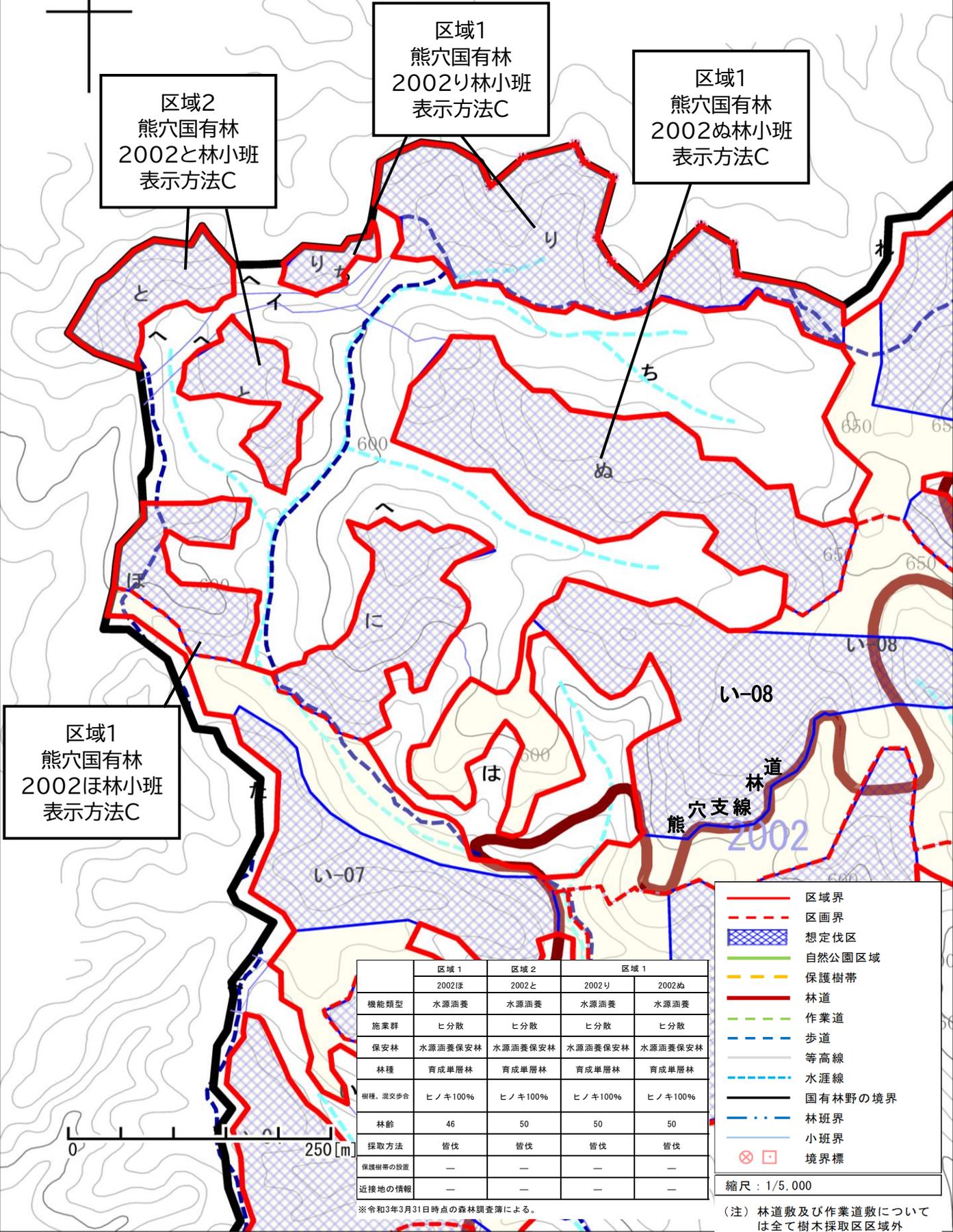
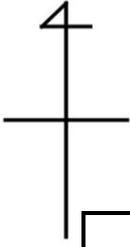
- 区域界
- - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- 作業道
- - - 歩道
- 等高線
- 水涯線
- 国有林野の境界
- 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

(注) 林道数及び作業道数については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市徳田町字熊穴国有林2002ほ林小班ほか



	区域1		区域2		区域1	
	2002ほ	2002と	2002り	2002め	2002ほ	2002と
機能類型	水源涵養	水源涵養	水源涵養	水源涵養	水源涵養	水源涵養
施業群	ヒ分散	ヒ分散	ヒ分散	ヒ分散	ヒ分散	ヒ分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林	育成単層林	育成単層林	育成単層林	育成単層林	育成単層林
樹種、混交歩合	ヒノキ100%	ヒノキ100%	ヒノキ100%	ヒノキ100%	ヒノキ100%	ヒノキ100%
林齢	46	50	50	50	46	50
採取方法	皆伐	皆伐	皆伐	皆伐	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	-	-	-	-	-	-
近接地の情報	-	-	-	-	-	-

- 区域界
- - - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- - - - 保護樹帯
- 林道
- - - - 作業道
- - - - 歩道
- 等高線
- - - - 水涯線
- 国有林野の境界
- · - · - 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

縮尺：1/5,000

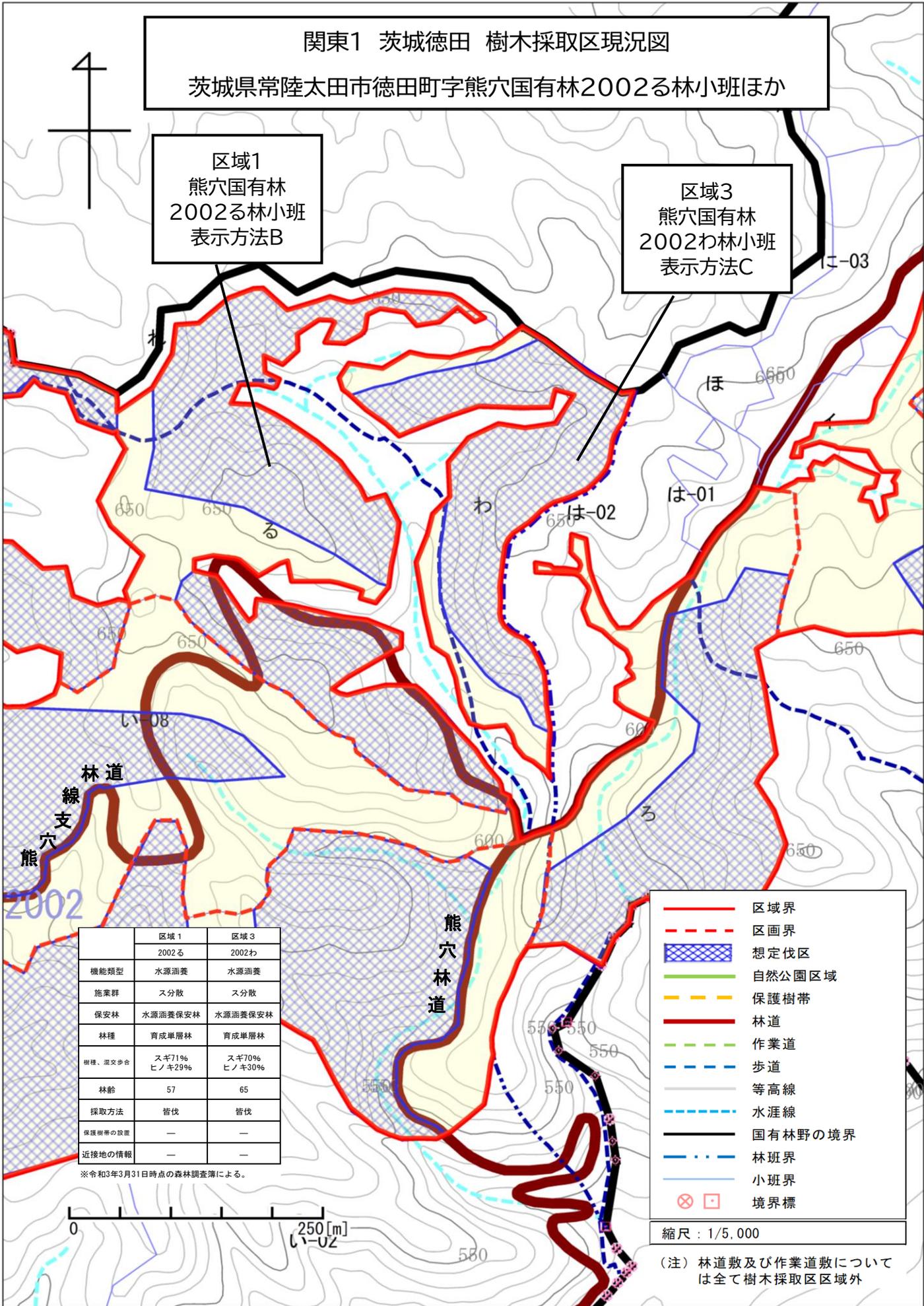
※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市徳田町字熊穴国有林2002る林小班ほか

区域1  
 熊穴国有林  
 2002る林小班  
 表示方法B

区域3  
 熊穴国有林  
 2002わ林小班  
 表示方法C



	区域1 2002る	区域3 2002わ
機能類型	水源涵養	水源涵養
施業群	ス分散	ス分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ71% ヒノキ29%	スギ70% ヒノキ30%
林齢	57	65
採取方法	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	—	—
近接地の情報	—	—

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

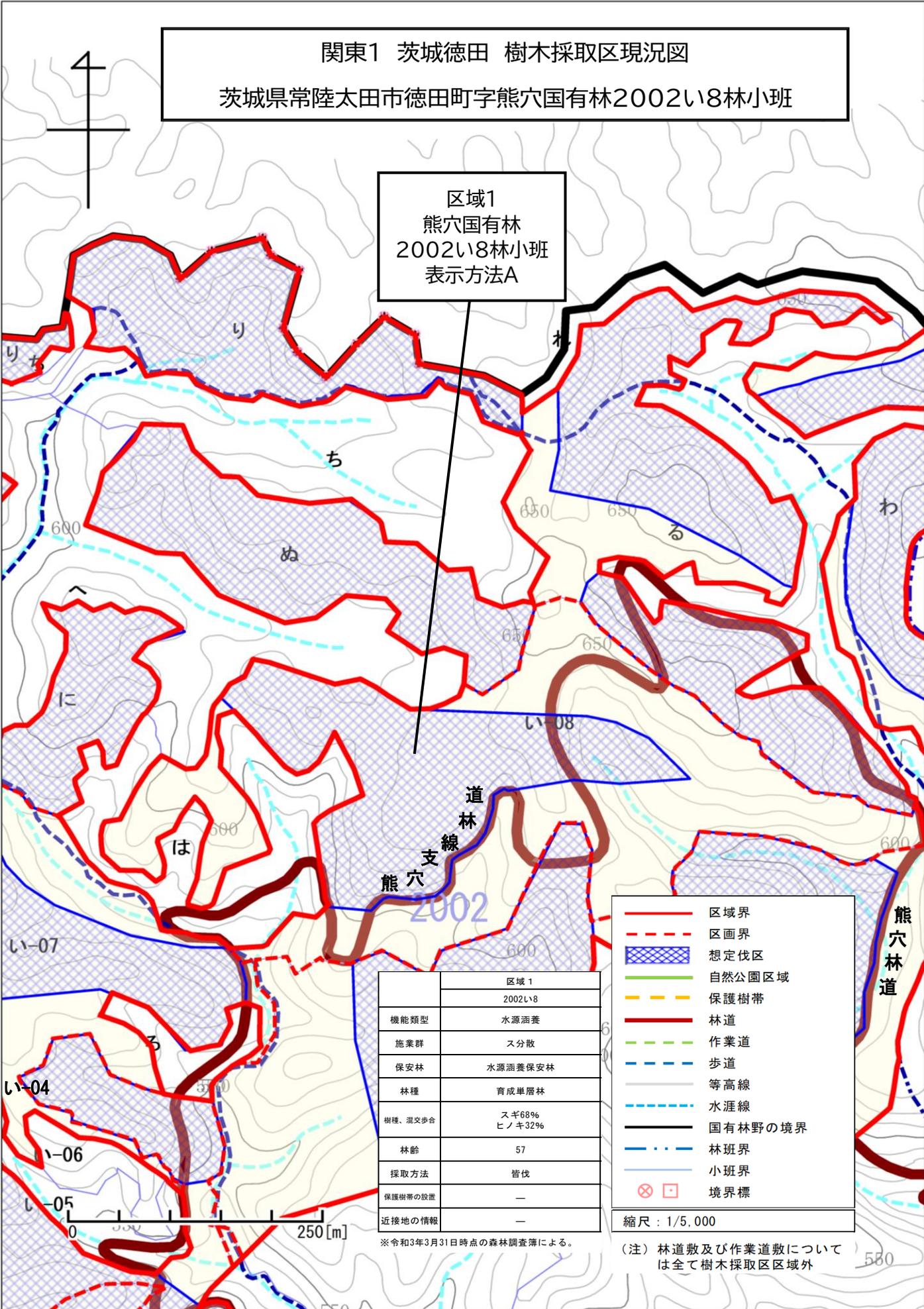
- 区域界
- - - 区画界
- ▨ 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- 作業道
- 歩道
- 等高線
- 水涯線
- 国有林野の境界
- 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

縮尺：1/5,000

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市徳田町字熊穴国有林2002い8林小班

区域1  
 熊穴国有林  
 2002い8林小班  
 表示方法A



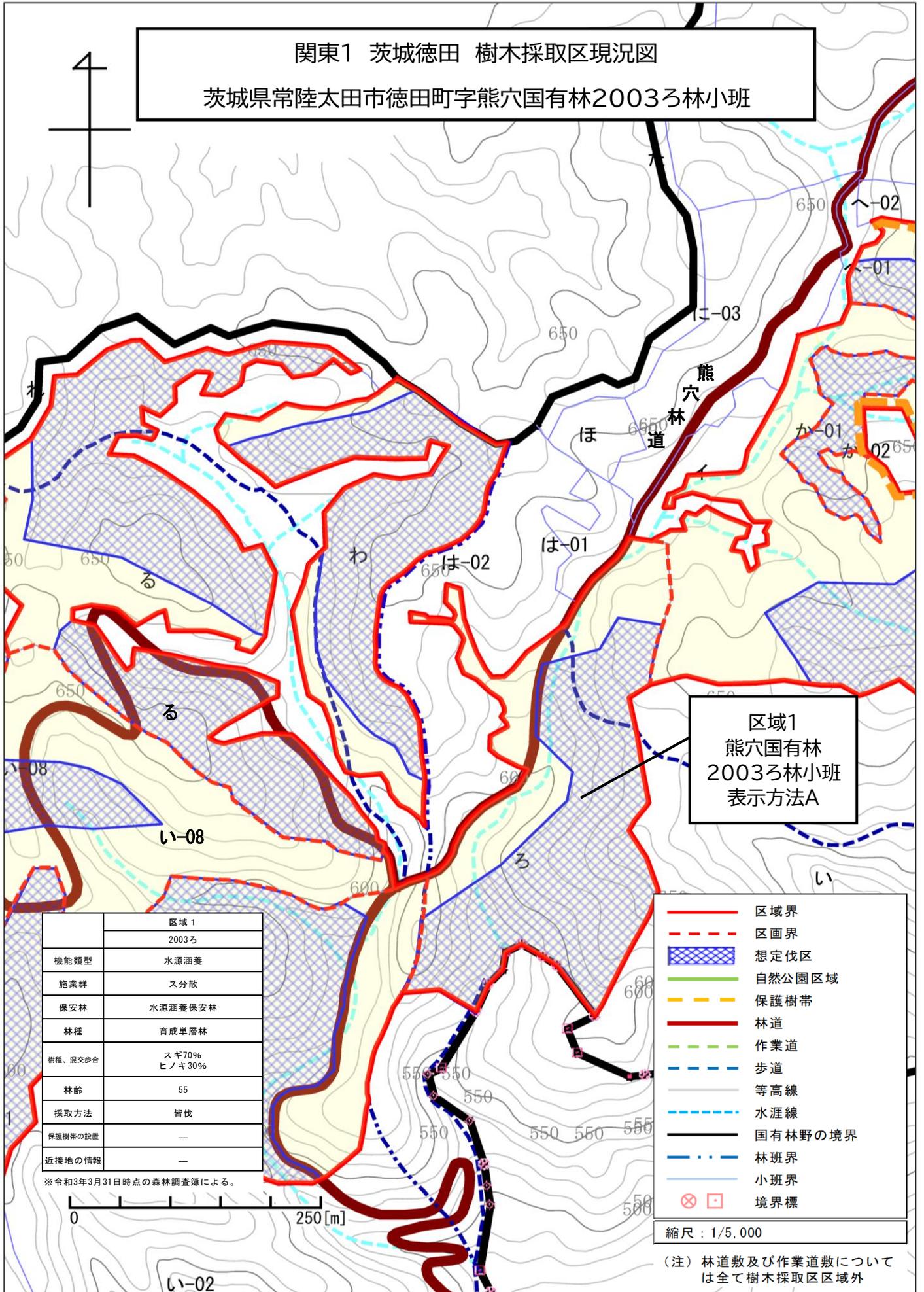
	区域1
	2002い8
機能類型	水源涵養
施業群	ス分散
保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ68% ヒノキ32%
林齢	57
採取方法	皆伐
保護樹帯の設置	—
近接地の情報	—

- 区域界
  - - - 区画界
  - ▨ 想定伐区
  - 自然公園区域
  - - - 保護樹帯
  - 林道
  - - - 作業道
  - - - 歩道
  - 等高線
  - - - 水涯線
  - 国有林野の境界
  - · - · - 林班界
  - · - · - 小班界
  - ⊗ ⊠ 境界標
- 縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市徳田町字熊穴国有林2003ろ林小班



区域1  
 熊穴国有林  
 2003ろ林小班  
 表示方法A

	区域1
	2003ろ
機能類型	水源涵養
施業群	ス分散
保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ70% ヒノキ30%
林齢	55
採取方法	皆伐
保護樹帯の設置	—
近接地の情報	—

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

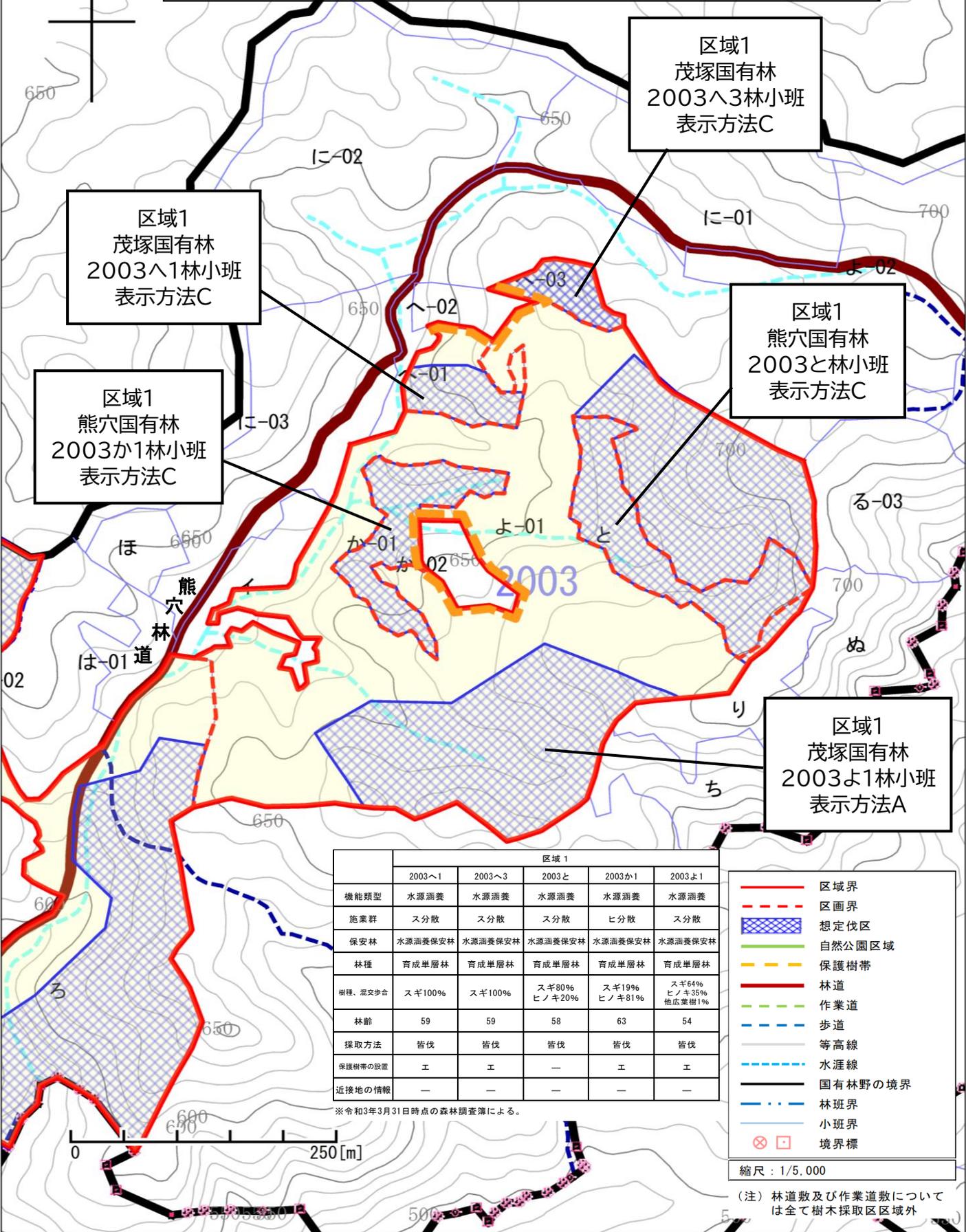
0 250[m]

- 区域界
- - - 区画界
- ▨ 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- 作業道
- 歩道
- 等高線
- 水涯線
- 国有林野の境界
- 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

縮尺：1/5,000

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
茨城県常陸太田市里川町字茂塚国有林2003へ1林小班ほか



区域1  
茂塚国有林  
2003へ1林小班  
表示方法C

区域1  
茂塚国有林  
2003へ3林小班  
表示方法C

区域1  
熊穴国有林  
2003と林小班  
表示方法C

区域1  
熊穴国有林  
2003か1林小班  
表示方法C

区域1  
茂塚国有林  
2003よ1林小班  
表示方法A

	区域1				
	2003へ1	2003へ3	2003と	2003か1	2003よ1
機能類型	水源涵養	水源涵養	水源涵養	水源涵養	水源涵養
施業群	ス分散	ス分散	ス分散	ヒ分散	ス分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林	育成単層林	育成単層林	育成単層林	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ100%	スギ100%	スギ80% ヒノキ20%	スギ19% ヒノキ81%	スギ64% ヒノキ35% 他広葉樹1%
林齢	59	59	58	63	54
採取方法	皆伐	皆伐	皆伐	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	エ	エ	—	エ	エ
近接地の情報	—	—	—	—	—

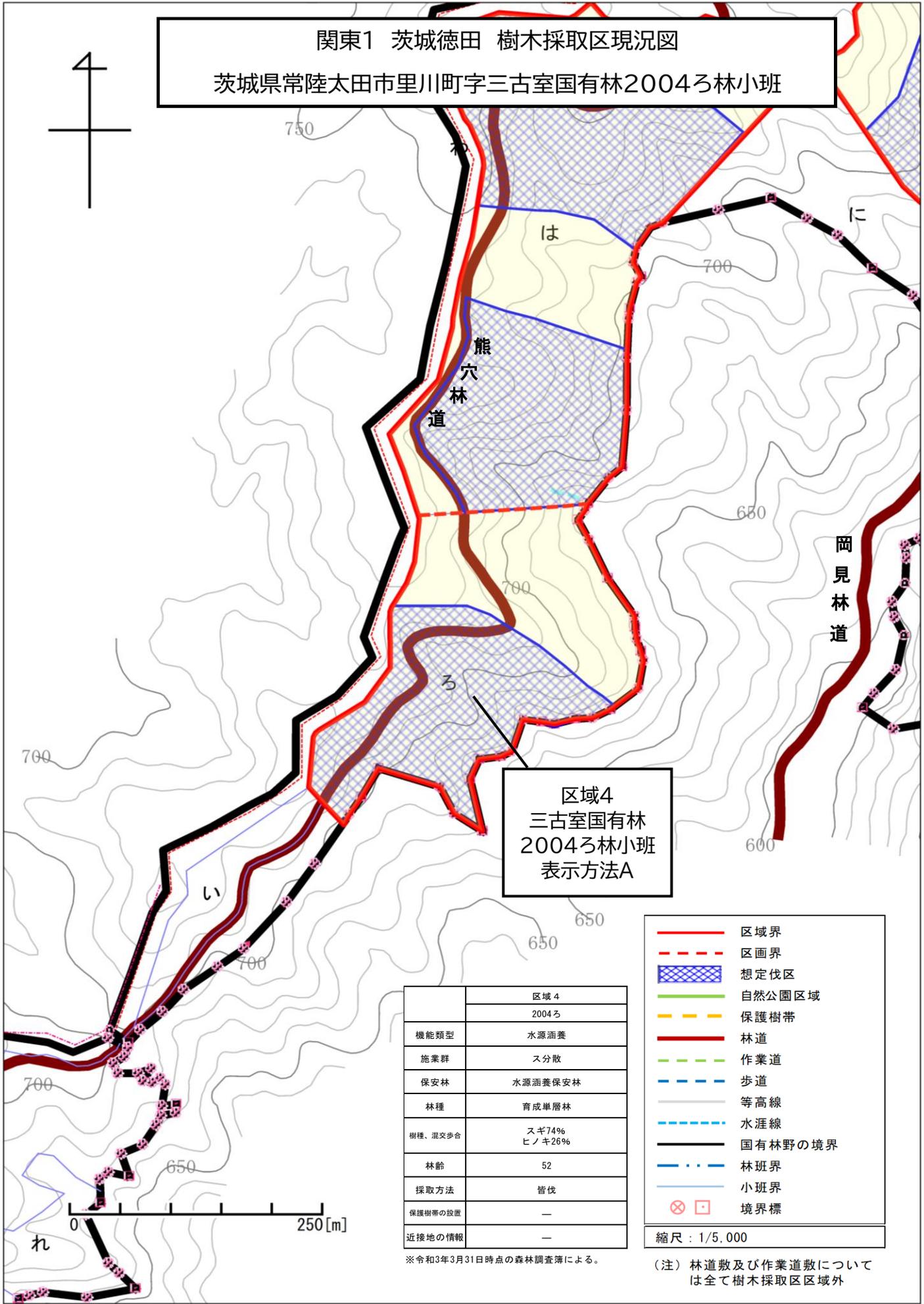
※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

- 区域界
- - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- - - 作業道
- - - 歩道
- 等高線
- - - 水涯線
- 国有林野の境界
- - - 林班界
- - - 小班界
- ⊗ ⊕ 境界標

縮尺：1/5,000

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市里川町字三古室国有林2004ろ林小班



区域4  
 三古室国有林  
 2004ろ林小班  
 表示方法A

	区域4
	2004ろ
機能類型	水源涵養
施業群	ス分散
保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ74% ヒノキ26%
林齢	52
採取方法	皆伐
保護樹帯の設置	—
近接地の情報	—

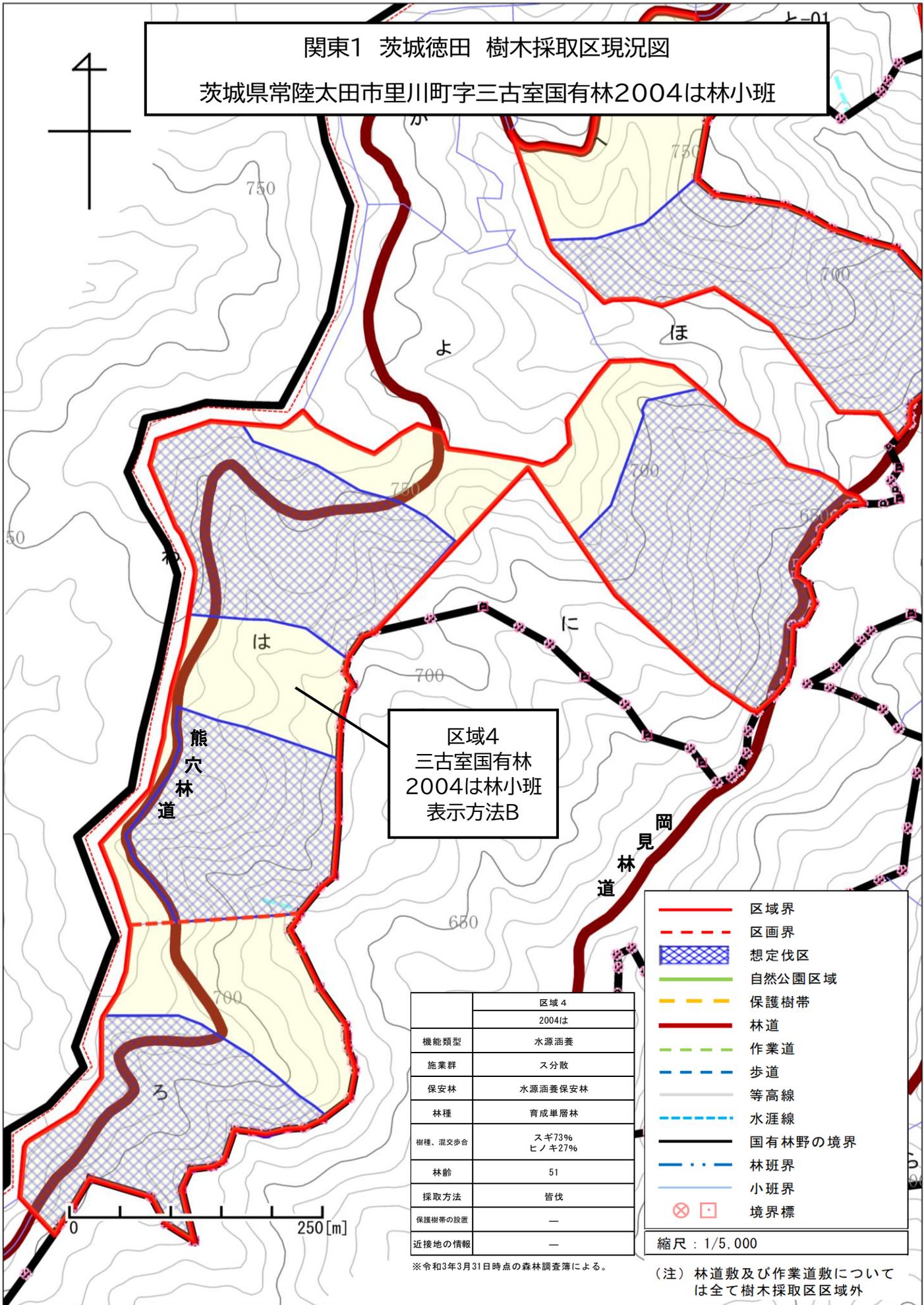
	区域界
	区画界
	想定伐区
	自然公園区域
	保護樹帯
	林道
	作業道
	歩道
	等高線
	水涯線
	国有林野の境界
	林班界
	小班界
	境界標
	境界標

縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

(注) 林道数及び作業道数については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市里川町字三古室国有林2004は林小班



区域4  
 三古室国有林  
 2004は林小班  
 表示方法B

	区域4
	2004は
機能類型	水源涵養
施業群	ス分散
保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ73% ヒノキ27%
林齢	51
採取方法	皆伐
保護樹帯の設置	—
近接地の情報	—

	区域界
	区画界
	想定伐区
	自然公園区域
	保護樹帯
	林道
	作業道
	歩道
	等高線
	水涯線
	国有林野の境界
	林班界
	小班界
	境界標

縮尺：1/5,000

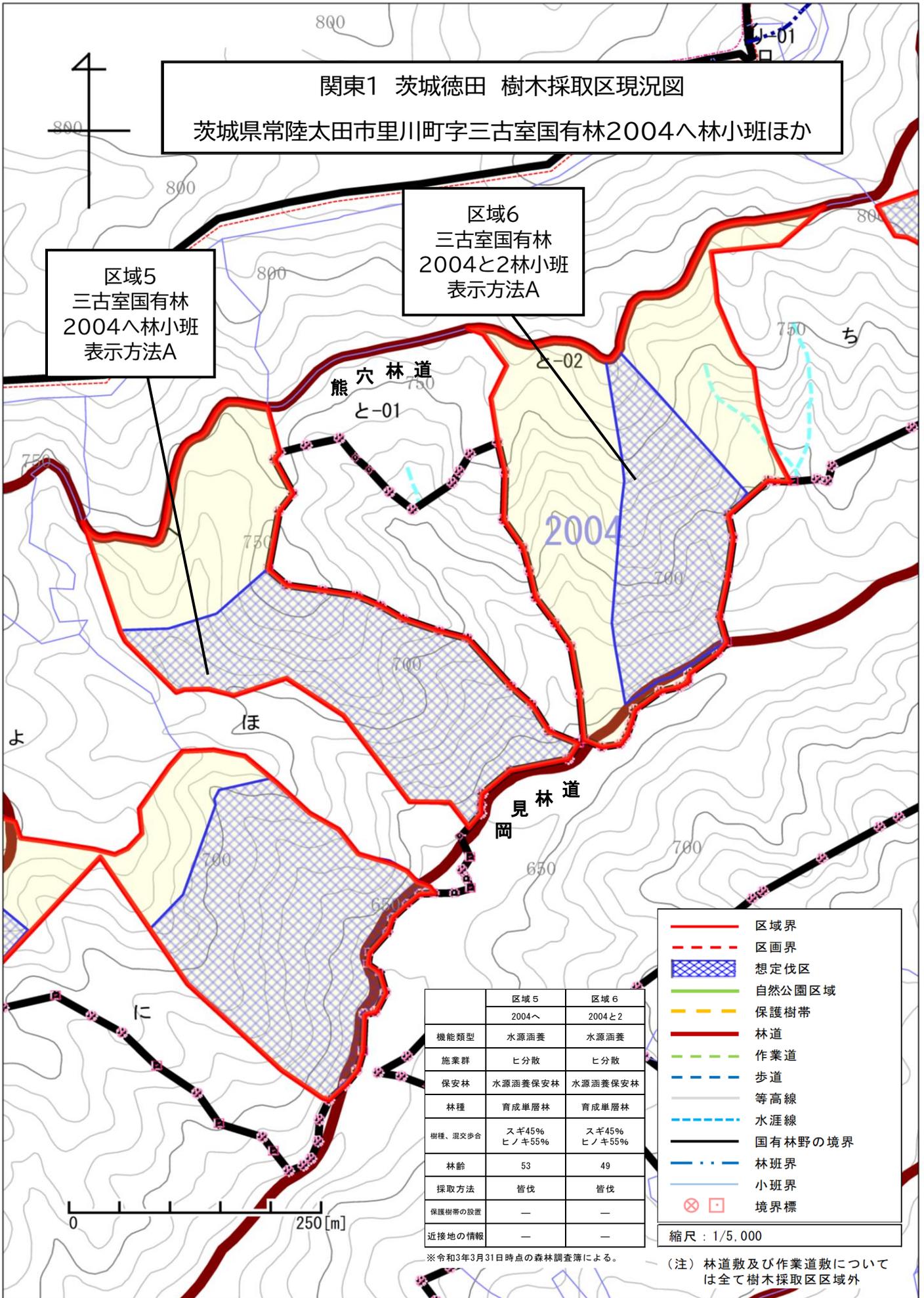
※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
茨城県常陸太田市里川町字三古室国有林2004へ林小班ほか

区域5  
三古室国有林  
2004へ林小班  
表示方法A

区域6  
三古室国有林  
2004と2林小班  
表示方法A



	区域5	区域6
	2004へ	2004と2
機能類型	水源涵養	水源涵養
施業群	ヒ分散	ヒ分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ45% ヒノキ55%	スギ45% ヒノキ55%
林齢	53	49
採取方法	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	—	—
近接地の情報	—	—

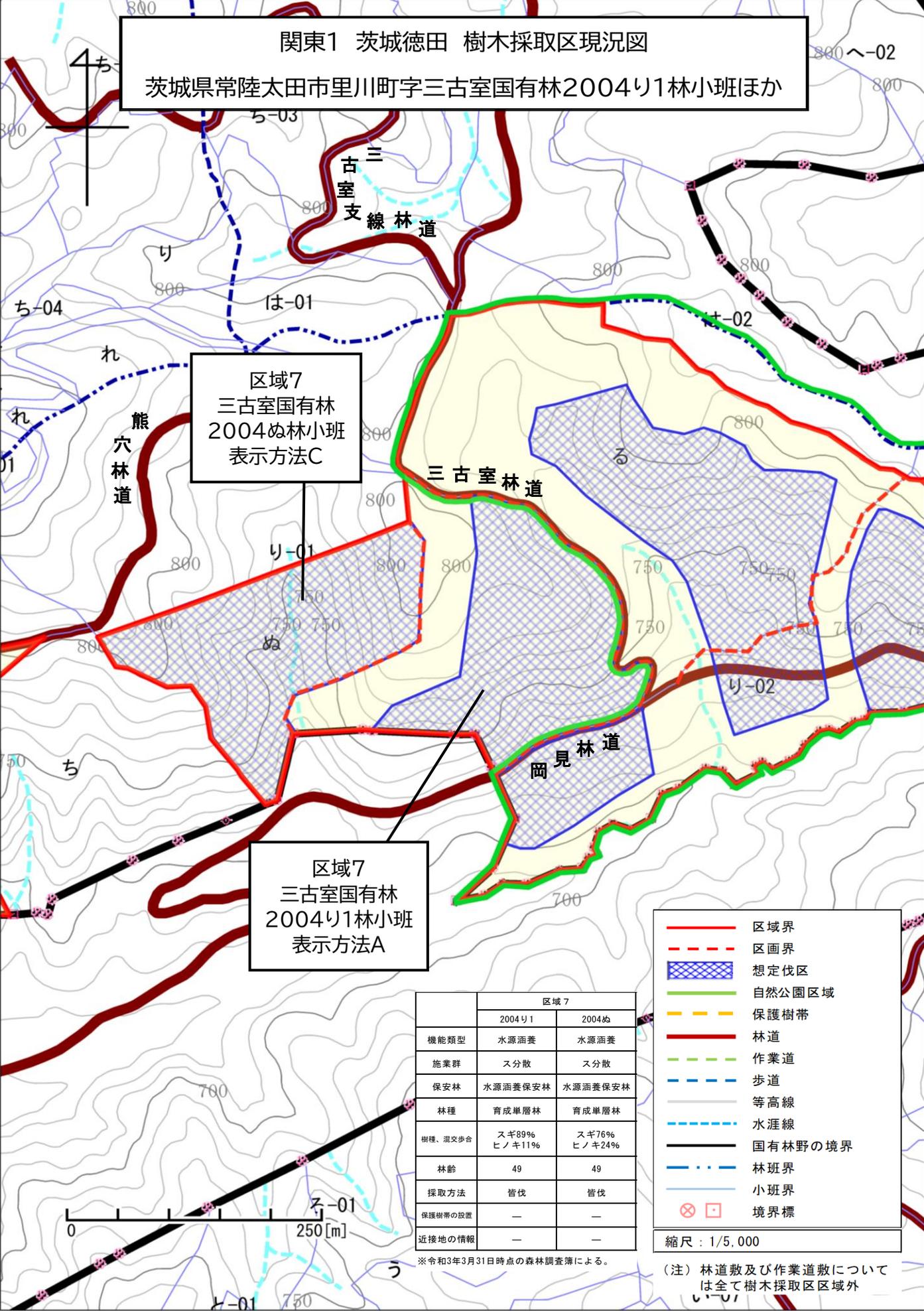
- 区域界
- - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- - - 作業道
- - - 歩道
- 等高線
- - - 水涯線
- 国有林野の境界
- · - · - 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市里川町字三古室国有林2004り1林小班ほか



区域7  
 三古室国有林  
 2004ぬ林小班  
 表示方法C

区域7  
 三古室国有林  
 2004り1林小班  
 表示方法A

	区域界
	区画界
	想定伐区
	自然公園区域
	保護樹帯
	林道
	作業道
	歩道
	等高線
	水涯線
	国有林野の境界
	林班界
	小班界
	境界標

	区域7	
	2004り1	2004ぬ
機能類型	水源涵養	水源涵養
施業群	ス分散	ス分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
林種	育成単層林	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ89% ヒノキ11%	スギ76% ヒノキ24%
林齢	49	49
採取方法	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	—	—
近接地の情報	—	—

0 250[m]

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。

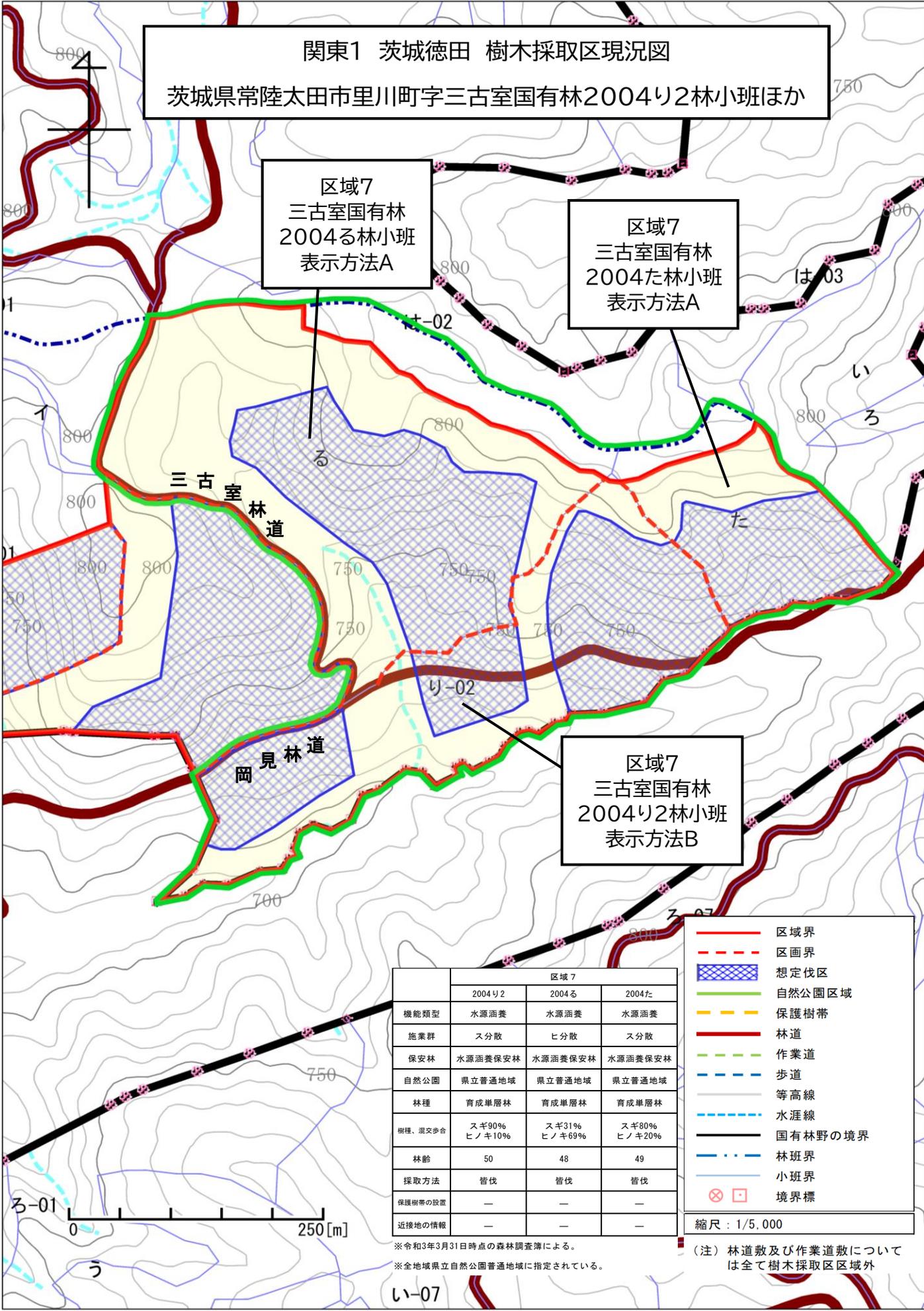
縮尺：1/5,000  
 (注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
茨城県常陸太田市里川町字三古室国有林2004り2林小班ほか

区域7  
三古室国有林  
2004る林小班  
表示方法A

区域7  
三古室国有林  
2004た林小班  
表示方法A

区域7  
三古室国有林  
2004り2林小班  
表示方法B



	区域7		
	2004り2	2004る	2004た
機能類型	水源涵養	水源涵養	水源涵養
作業群	ス分散	ヒ分散	ス分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
自然公園	県立普通地域	県立普通地域	県立普通地域
林種	育成単層林	育成単層林	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ90% ヒノキ10%	スギ31% ヒノキ69%	スギ80% ヒノキ20%
林齢	50	48	49
採取方法	皆伐	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	—	—	—
近接地の情報	—	—	—

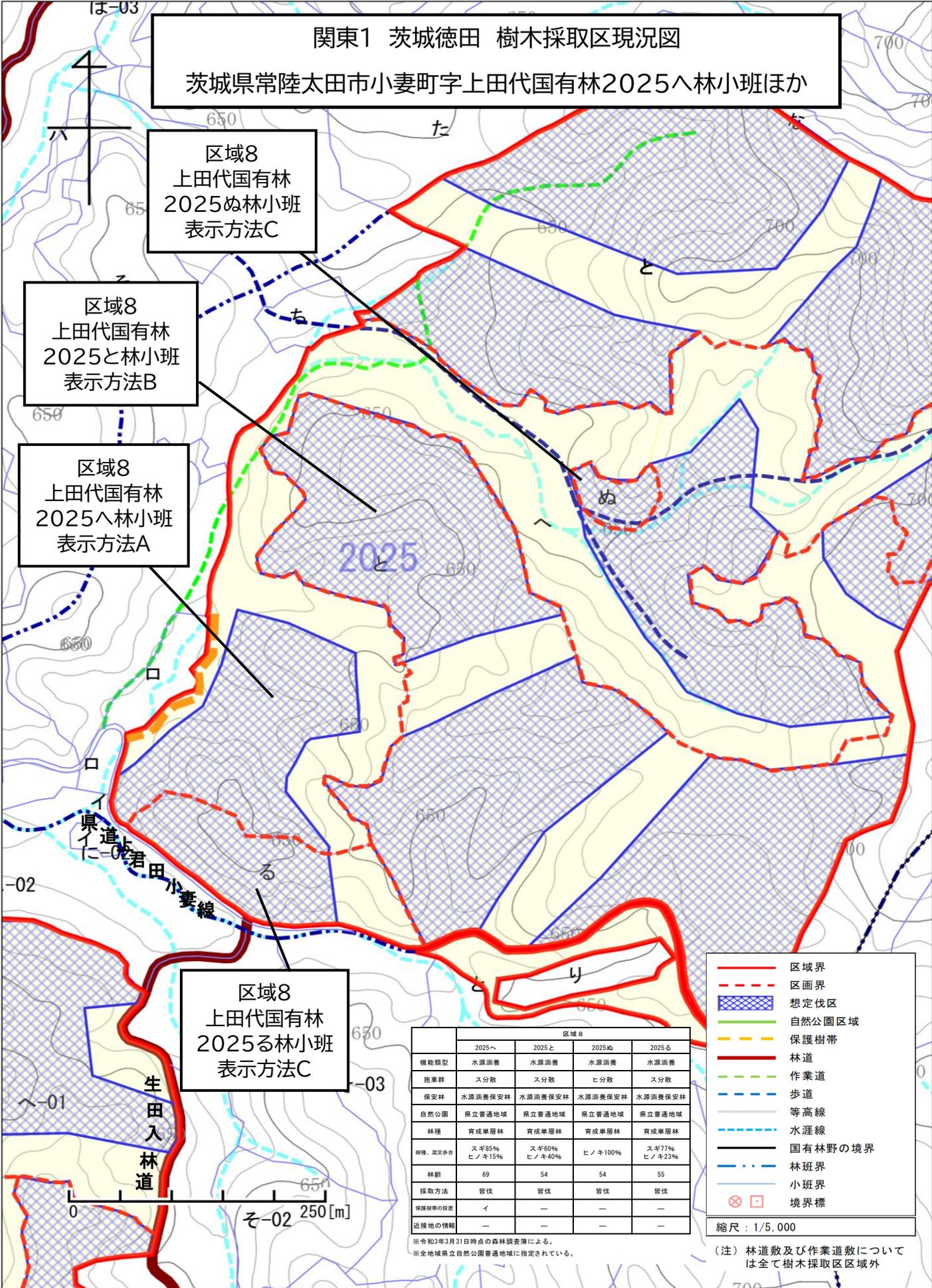
縮尺：1/5,000

- 区域界
- - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- 作業道
- 歩道
- 等高線
- 水涯線
- 国有林野の境界
- 林班界
- 小班界
- ⊗ 境界標

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。  
※全地域県立自然公園普通地域に指定されている。

(注) 林道数及び作業道数については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市小妻町字上田代国有林2025へ林小班ほか



区域8  
 上田代国有林  
 2025ぬ林小班  
 表示方法C

区域8  
 上田代国有林  
 2025と林小班  
 表示方法B

区域8  
 上田代国有林  
 2025へ林小班  
 表示方法A

区域8  
 上田代国有林  
 2025る林小班  
 表示方法C

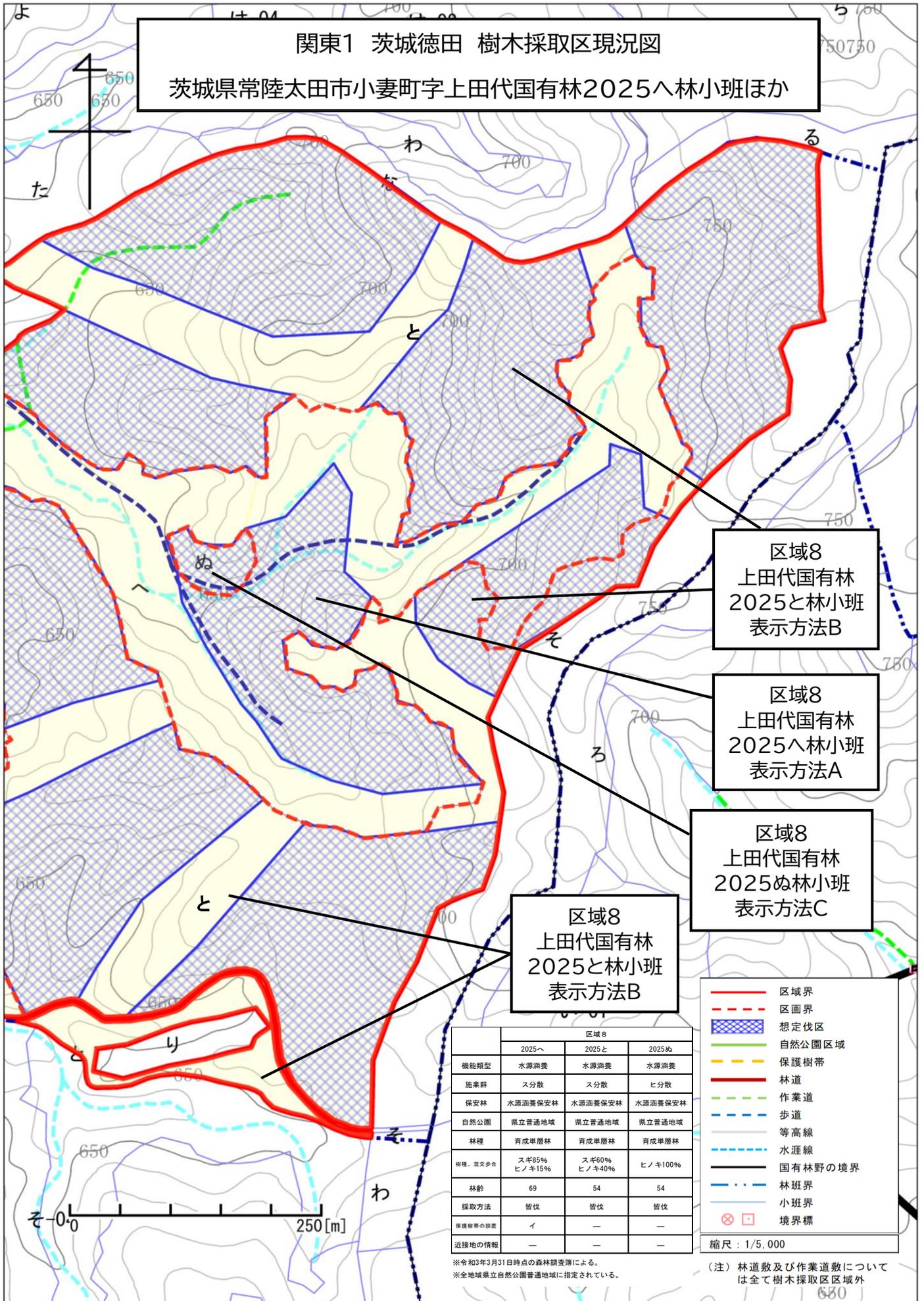
	区域8			
	2025へ	2025と	2025ぬ	2025る
機能類型	水源涵養	水源涵養	水源涵養	水源涵養
施業群	ス分散	ス分散	ヒ分散	ス分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
自然公園	県立普通地域	県立普通地域	県立普通地域	県立普通地域
林種	育成単層林	育成単層林	育成単層林	育成単層林
樹種・遊交歩合	スギ85% ヒノキ15%	スギ60% ヒノキ40%	ヒノキ100%	スギ77% ヒノキ23%
林齢	69	54	54	55
採取方法	皆伐	皆伐	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	イ	—	—	—
近接地の情報	—	—	—	—

- 区域界
  - - - 区画界
  - 想定伐区
  - 自然公園区域
  - 保護樹帯
  - 林道
  - - - 作業道
  - - - 歩道
  - 等高線
  - 水涯線
  - 国有林野の境界
  - - - 林班界
  - 小班界
  - ⊗ ⊠ 境界標
- 縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。  
 ※全地域県立自然公園普通地域に指定されている。

(注) 林道数及び作業道数については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
茨城県常陸太田市小妻町字上田代国有林2025へ林小班ほか



区域8  
上田代国有林  
2025と林小班  
表示方法B

区域8  
上田代国有林  
2025へ林小班  
表示方法A

区域8  
上田代国有林  
2025ぬ林小班  
表示方法C

区域8  
上田代国有林  
2025と林小班  
表示方法B

	区域8		
	2025へ	2025と	2025ぬ
機能類型	水源涵養	水源涵養	水源涵養
施業群	ス分散	ス分散	ヒ分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
自然公園	県立普通地域	県立普通地域	県立普通地域
林種	育成単層林	育成単層林	育成単層林
樹種・混交割合	スギ95% ヒノキ15%	スギ60% ヒノキ40%	ヒノキ100%
林齢	69	54	54
採取方法	皆伐	皆伐	皆伐
保護樹帯の設置	イ	—	—
近接地の情報	—	—	—

- 区域界
- - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- 作業道
- - - 歩道
- 等高線
- 水涯線
- 国有林野の境界
- 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査による。  
※全地域県立自然公園普通地域に指定されている。

(注) 林道数及び作業道数については全て樹木採取区区域外

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
茨城県常陸太田市小妻町字上田代国有林2026い林小班

区域9  
上田代国有林  
2026い林小班  
表示方法C

	区域界
	区画界
	想定伐区
	自然公園区域
	保護樹帯
	林道
	作業道
	歩道
	等高線
	水涯線
	国有林野の境界
	林班界
	小班界
	境界標

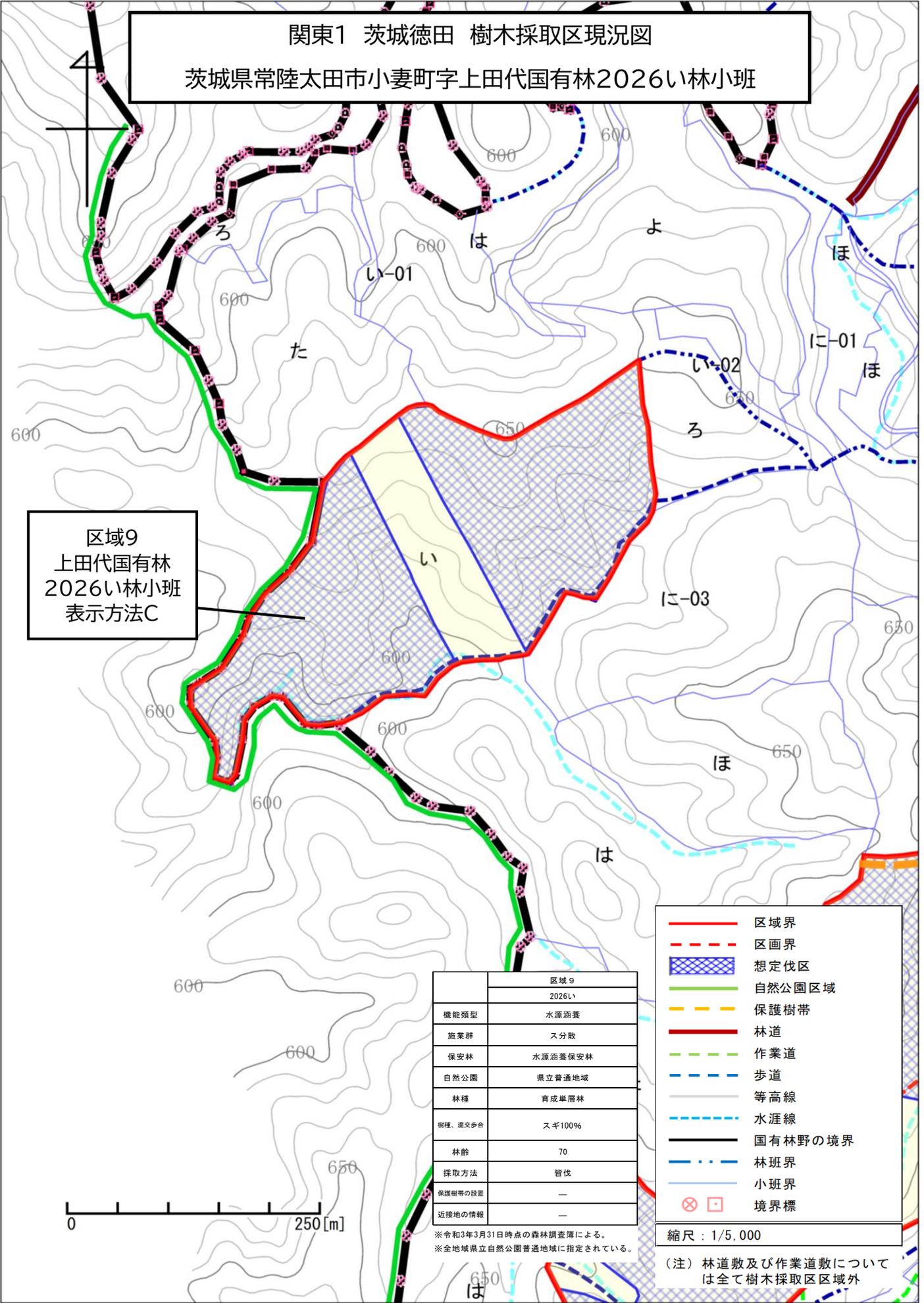
	区域9
	2026い
機能類型	水源涵養
施業群	ス分散
保安林	水源涵養保安林
自然公園	県立普通地域
林種	育成単層林
樹種、混交歩合	スギ100%
林齢	70
採取方法	皆伐
保護樹帯の設置	—
近接地の情報	—

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。  
※全地域県立自然公園普通地域に指定されている。



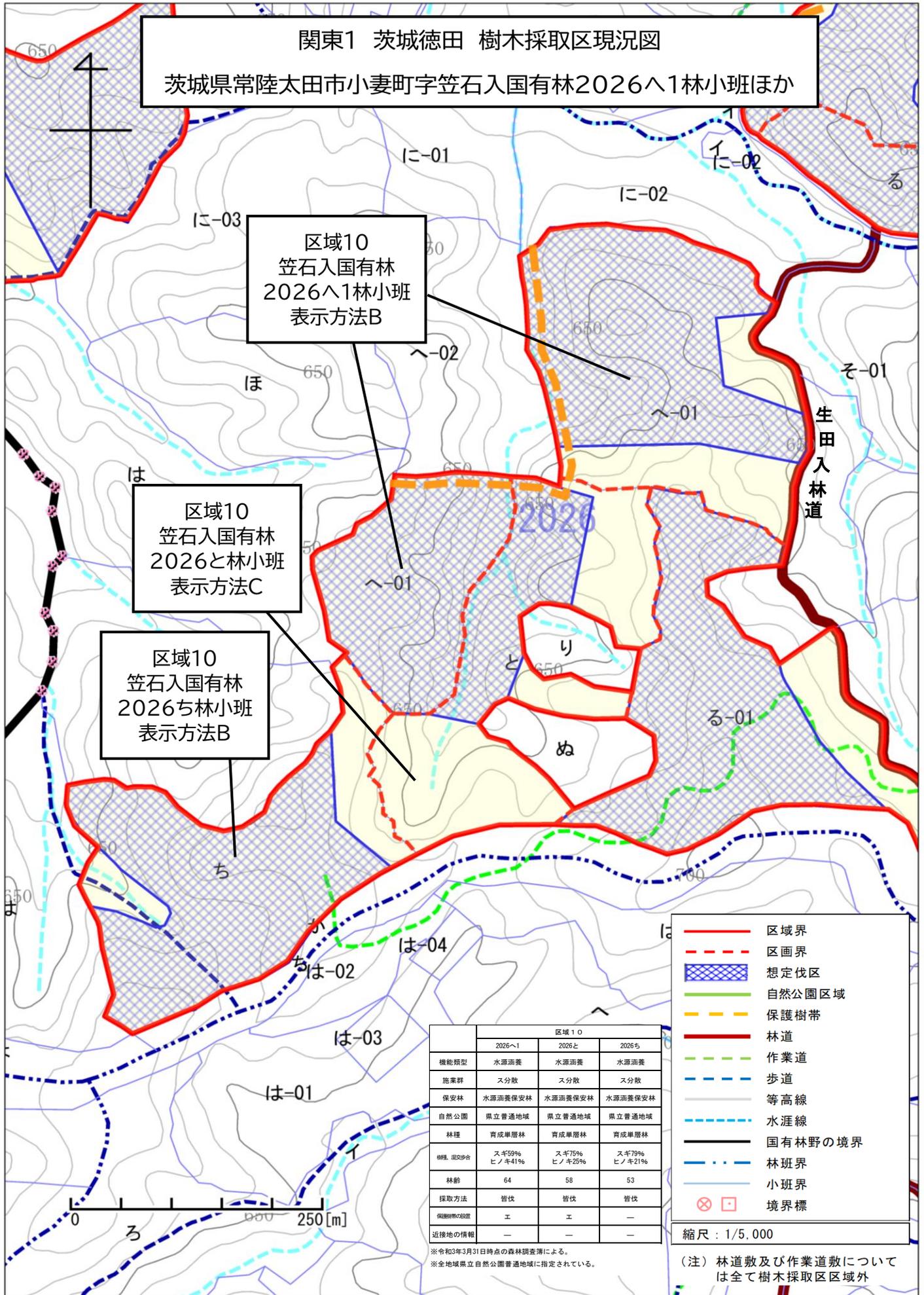
縮尺：1/5,000

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外



関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図

茨城県常陸太田市小妻町字笠石入国有林2026へ1林小班ほか



区域10  
笠石入国有林  
2026へ1林小班  
表示方法B

区域10  
笠石入国有林  
2026と林小班  
表示方法C

区域10  
笠石入国有林  
2026ち林小班  
表示方法B

- 区域界
- - - - 区画界
- 想定伐区
- 自然公園区域
- 保護樹帯
- 林道
- 作業道
- 歩道
- 等高線
- 水涯線
- 国有林野の境界
- 林班界
- 小班界
- ⊗ ⊠ 境界標

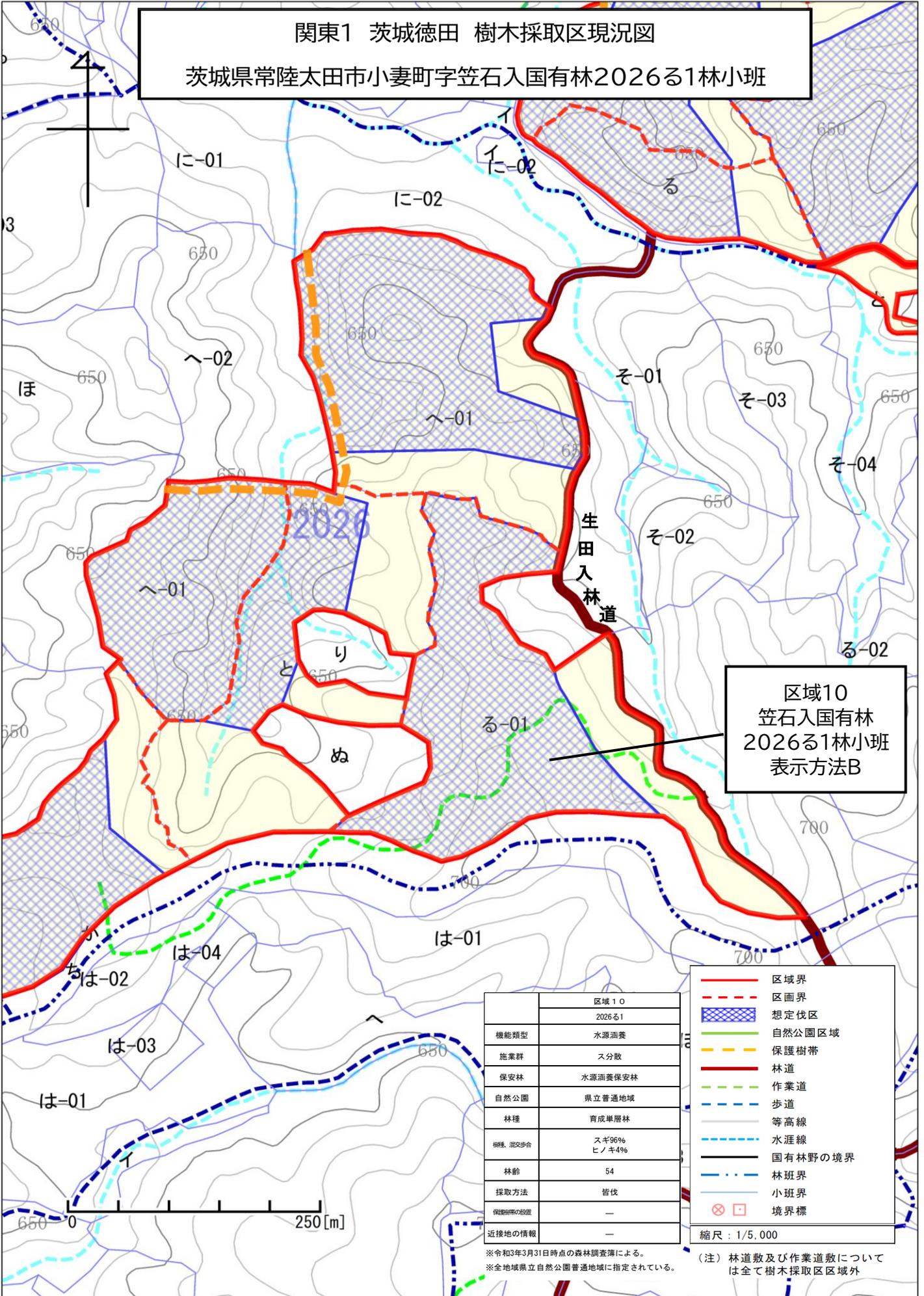
	区域10		
	2026へ1	2026と	2026ち
機能類型	水源涵養	水源涵養	水源涵養
施業群	ス分散	ス分散	ス分散
保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林	水源涵養保安林
自然公園	県立普通地域	県立普通地域	県立普通地域
林種	育成単層林	育成単層林	育成単層林
樹種 固交割合	スギ59% ヒノキ41%	スギ75% ヒノキ25%	スギ79% ヒノキ21%
林齢	64	58	53
採取方法	皆伐	皆伐	皆伐
保樹樹の設置	エ	エ	—
近接地の情報	—	—	—

縮尺：1/5,000

(注) 林道敷及び作業道敷については全て樹木採取区区域外

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。  
※全地域県立自然公園普通地域に指定されている。

関東1 茨城徳田 樹木採取区現況図  
 茨城県常陸太田市小妻町字笠石入国有林2026る1林小班



区域10  
 笠石入国有林  
 2026る1林小班  
 表示方法B

	区域10
	2026る1
機能類型	水源涵養
施業群	ス分散
保安林	水源涵養保安林
自然公園	県立普通地域
林種	育成単層林
樹種、混交割合	スギ96% ヒノキ4%
林齢	54
採取方法	皆伐
保護樹の設置	—
近接地の情報	—

- 区域界
  - - - 区画界
  - ▨ 想定伐区
  - ▨ 自然公園区域
  - 保護樹帯
  - 林道
  - 作業道
  - 歩道
  - 等高線
  - 水涯線
  - 国有林野の境界
  - 林班界
  - 小班界
  - ⊗ ⊠ 境界標
- 縮尺：1/5,000

※令和3年3月31日時点の森林調査簿による。  
 ※全地域県立自然公園普通地域に指定されている。  
 (注) 林道数及び作業道数については全て樹木採取区区域外